

インフルエンザの流行状況(第1報)について ～注意報発令～

1 概要

感染発生動向調査によるインフルエンザの患者報告数は、昨年末より増加傾向を示していましたが、平成28年第2週(1月11日～1月17日)に、定点あたりの報告数が12.22人(定点医療機関58カ所、報告数709人)となり、注意報発令基準値の10.00人を超えましたので、注意報を発令します。

年齢別では、5～9歳が160人(22.6%)で最も多く、次いで1～4歳127人(17.9%)、30代80人(11.3%)、20代78人(11.0%)、10～14歳68人(9.6%)の順となっています。また、第1週～第2週に検出されたインフルエンザウイルスの型別割合は、A型80.5%(845/1050)、B型19.5%(205/1050)となっています。

今後、流行の拡大を抑えるためにも、「手洗い」や「咳エチケット」などの感染予防策を徹底してください。

2 インフルエンザの患者発生状況

感染症発生動向調査事業において県内のインフルエンザ58定点医療機関(小児科定点:34、内科定点:24)の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約5,000カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

(1) 定点あたりの患者報告数(直近の7週間)

	週	49週	50週	51週	52週	53週	1週	2週
		11/30 ～12/6	12/7 ～12/13	12/14 ～12/20	12/21 ～12/27	12/28 ～1/3	1/4 ～1/10	1/11 ～1/17
県	患者数	55	74	58	159	353	475	709
	定点当	0.95	1.28	1.00	2.74	6.09	8.19	12.22
全 国	患者数	1043	1690	2270	3734	4290	9964	
	定点当	0.21	0.34	0.46	0.76	0.89	2.02	

※感染症発生動向調査システム上の警報・注意報の発令基準値

流行注意報：定点あたり10人以上
 流行警報：定点あたり30人以上

第2週の保健所別定点あたり患者報告数は、那覇市保健所が17.17で最も多く、次いで南部保健所14.57、北部保健所13.60、中部保健所10.45、宮古保健所5.50、八重山保健所0.00の順となっています。

(2) 年齢別患者報告数 (第2週)

年齢群	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
患者報告数	13	127	160	68	41	78	80	63	33	46	709
(%)	(1.8)	(17.9)	(22.6)	(9.6)	(5.8)	(11.0)	(11.3)	(8.9)	(4.7)	(6.5)	

(3) 休校、学年・学級閉鎖の状況

第2週は、学級閉鎖5校（南部保健所管内小学校：4、那覇市保健所管内小学校：1）が報告されています。

3 インフルエンザの感染予防策（別添チラシ参照）

（流行時の予防方法）

- ① 食事の前や帰宅後には、必ず「**手洗い**」をしましょう。
- ② バランスよく栄養を摂取し、十分な睡眠をとりましょう。
- ③ インフルエンザワクチンの**予防接種**は、早めに受けましょう。
- ④ 「**咳エチケット**」を実行しましょう。
- ⑤ 室内の換気に気をつけ適切な湿度を保ちましょう。
- ⑥ インフルエンザが流行しだしたら、不要不急の外出を避けましょう。

4 インフルエンザに罹ってしまったら

- ① かかりつけ医にまず相談、受診しましょう（救急医療をつぶさない）。
- ② 感染を広げないために、会社や学校を休み、安静にしましょう。
- ③ マスクを着用し、咳やくしゃみをする時は「**咳エチケット**」を守りましょう。

5 注意喚起のお願い

県では、インフルエンザの予防及び蔓延防止を図るため、別添チラシを作成し、関係機関へ配布したところです。マスコミの皆様もインフルエンザの予防等の周知について、ご協力いただきますようお願いいたします。

※インフルエンザ流行についての情報は、以下のサイトもご参照下さい。

チラシは沖縄県感染症情報センターホームページからダウンロードできます。

沖縄県感染症情報センターホームページ <http://www.idsc-okinawa.jp/>

国立感染症情報センターホームページ <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.htm>

インフルエンザまん延防止のおねがい

みんなで気をつけよう インフルエンザ

インフルエンザにかからないために

帰ったらすぐに
手を洗うのよ~!



安心してください。
洗ってますよ!



インフルエンザをうつさないために

せきがでたら、
せきエチケット
だよ~!



安心してください。
マスクしてますよ!



インフルエンザにうつらないために 日ごろから気をつけましょう

咳
エチケット

インフルエンザをうつさないために



咳やくしゃみをする時、ティッシュペーパーを使って口と鼻を押さえましょう。ティッシュペーパーがないときはにのうで。



手を使ったり、そのままくしゃみをしてしまうとウイルスが広がってしまい二次感染の恐れがあります。

感染を防ぐために



予防チェック

日ごろしているものを
チェック!

- 食事の前や帰宅後には必ず手洗い、うがいをする
- バランスのいい食事に努めている
- 休養を心がけて、睡眠時間を確保するようにしている
- インフルエンザの予防接種を受けている
- インフルエンザが流行しだしたら、不要不急の外出を避ける
- 咳エチケットを知っていて、実行している

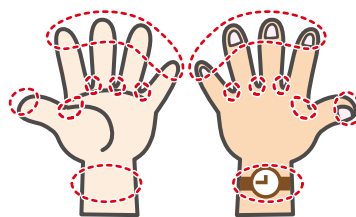
手洗いの方法

- ポイント 1 爪は短く切る
- ポイント 2 時計や指輪ははずす
- ポイント 3 石けんをよくあわ立て、最後は十分に水で流す
- ポイント 4 ペーパータオルや清潔なタオルでよく拭き取って乾かす



手を洗おう

汚れが残りやすいところ



- 指先や爪の間
- 手首
- 指の間
- 親指の周囲
- 手のしわ

インフルエンザの予防に関する相談窓口

北部保健所 Tel:0980-52-5219 / Fax:0980-53-2505
 中部保健所 Tel:098-938-9701 / Fax:098-938-9779
 南部保健所 Tel:098-889-6591 / Fax:098-888-1348
 宮古保健所 Tel:0980-73-5074 / Fax:0980-72-8446
 八重山保健所 Tel:0980-82-4891 / Fax:0980-83-0474
 那覇市保健所 Tel:098-853-7971 / Fax:098-853-7967

相談受付 平日 午前8時30分～午後5時15分

お問い合わせ ▶ 沖縄県保健医療部健康長寿課
 インフルエンザ情報 ▶ 沖縄県感染症情報センター

Tel.098-866-2209 Fax.098-866-2289
 ホームページ URL: <http://www.idsc-okinawa.jp/>

子どもの急な病気に困ったら、まず☎!

小児救急電話相談

受診した方が良いのか、様子をもても大丈夫なのか、看護師や医師が電話でアドバイスします。

プッシュ回線の
固定電話・
携帯電話からは、
局番なしの

#8000

※相談日時は、毎日夜間午後7時～午後11時